



2005 ITU Triathlon World Championships
 Gamagori, Junior Female & U23
 2005 ITU トライアスロン世界選手権蒲郡大会
 ジュニア女子・アンダー23
 10 September 2005



ジュニア女子はモニシュが、

U23 女子はヒューイットが、U23 男子はシューメイカーが優勝

10日(土)、2005 ITU トライアスロン世界選手権蒲郡大会は、ジュニア女子とアンダー23のレースが行われた。

午前9時にスタートしたジュニア女子は、ジェニファー・スピーデナー(アメリカ)が後続を引き離してスイムをトップで終えた。8秒遅れてアナイス・モニシュ(ポルトガル)、ビッキー・ホランド(アメリカ)が続く。日本選手では呼野詩織(東京都連合)が10位でバイクへ移った。バイクでは、ブリトニー・オールとメラニー・セクストンのオーストラリア勢が追い上げ、さらに逃げてランへ突入。ランでは、3位でバイクを終えたモニシュが二人を追い上げ優勝した。2位には4位からランラップ1位で快走したレベッカ・スペンス(ニュージーランド)が、3位にはセクストンが入った。日本選手は、バイク、ランで追い上げた菊池日出子(チームテイケイ)が25位となった。

10時45分にスタートしたアンダー23女子は、サラ・マクラティ(アメリカ)が驚異的な泳ぎで後続を1分45秒も引き離す18分50秒のタイムでバイクへ移ると、一人で逃げ始めた。後を追うのは、アンドレア・ヒューイット(ニュージーランド)、ニッキー・サミュエル(ニュージーランド)、ベンデューラ・フリントワ(チェコ)、ニコラ・スピリグ(スイス)、キャスリン・ミュラー(ドイツ)にスイムを5位で上がった太田麻衣子(東海大学)。バイク終盤では、マクラティ第2集団が追いついた。太田はアクシデントで第3集団に下がってしまった。ランでは、逃げるヒューイットにフリントワとスピリグが追う展開。スピリグがスピードを落とすなか、フリントワはヒューイットに肉薄したが、ヒューイットが34差で逃げ切って優勝した。2位はフリントワ、3位はスピリグだった。日本選手は、ランで粘った田中敬子(チームゴーヤー・スカイタワー)が13位となった。

午後1時30分にスタートしたアンダー23男子は、ステファン・ヤスタス(ドイツ)がスイムのトップに立ったが1分以内に31名が入り、混戦が予想された。バイクでは、序盤こそ4名の選手が逃げたが、中盤で35名の大集団にふくれあがり、終盤でヤン・ヤノール(チェコ)とアルベルト・カサデイ(イタリア)が逃げて44秒差でランへ。この二人はラン序盤で後退。代わってジャロッド・シューメイカー(アメリカ)が抜け出し、ダニール・サブノフ(カザフスタン)が追う展開。結局シューメイカーが逃げ切って優勝した。2位はサブノフ、3位はベルトラン・ブーチ(フランス)。日本選手は、平松幸紘(立命館大学)が22位に入った。

午後5時から行われた明日のレースの記者会見では、中西真知子(NTT東日本・NTT西日本)と西内洋行(福島県協会)が出席。中西は、「スイムから逃げの集団に入って、ランでも逃げ切りたい」と、また西内は、「バイク、ランで追い上げて上位をねらう」と、それぞれ決意を語った。

なお、レースの様子はフォトギャラリーでご覧いただけます。

